

建学の精神とキリスト教 - 501 【第1回】

新島襄・同志社・ キリスト教の基礎

同志社大学 神学部教授
良心学研究センター長
小原 克博

1

概 要 (シラバスより)

3

こはら かつひろ
講義担当者：小原 克博

1965年、大阪生まれ。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。現在、同志社大学神学部教授、神学部長・神学研究科長、良心学研究センター長。

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治およびビジネス（経済活動）との関係、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論などに取り組む。神道および仏教をはじめとする日本の諸宗教との対話の経験も長い。

著書として『一神教とは何か ― キリスト教、ユダヤ教、イスラームを知るために』（平凡社新書）、『宗教のポリティクス ― 日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房）、『神のドラマトゥルギー ― 自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館）などがある。

2

この授業では、同志社の創業者・新島襄の生涯や理念、同志社の歴史、建学の精神とその変遷を学ぶと共に、「同志社大学徳育の基本」（同志社大学設立の旨意）とされているキリスト教（主義）について学びます。

4

この授業は曜日校地の指定のない、オンデマンド型のインターネット授業です。毎回、オンデマンド動画を視聴し、リーディング・アサインメント（『新島襄365』）を終えた上で、800字程度のレポートを締め切り日時（毎週、木曜日12:00）までにe-class上に提出していただきます。期末試験（レポート）はありません。授業の進め方の詳細については、初回の授業で説明します。授業に必要なやり取りは、すべてe-class上で行います。なお、下記「授業計画」において各回に付されている日付は、レポート提出の締め切り日を示しています。

5

毎回、リーディング・アサインメントとして、同志社大学 良心学研究センター編『新島襄365』を30ページ程度読んでいただきます。これは、動画を視聴するだけの受け身的な学びにならないために必要な作業となります。

『新島襄365』には新島の言葉や新島の評伝、同志社のエピソードが多数紹介されています。

7

授業全体は大きく二つに区分されます。前半では「建学の精神」を中心に、後半では「キリスト教」を中心に学びを進めていきます。後半ではキリスト教についての一般的な学びに終始することなく、新島襄の理念や建学の精神を積極的に関係づけることにより、「建学の精神」と「キリスト教」を統合的に見る視点を養っていきます。

6

奥まった床の間に飾るように、新島の言葉を掲げるのではなく、私たちの日常の中で、言葉の一つひとつと新たに出会い、味わうことができれば、それが私たちの新しい精神を形づくり、日常を違った角度から見ることができるかもしれません。新島が生きた時代と私たちが生きている時代の間には、確かに大きな違いがあります。しかし、それゆえに新島の残した言葉の一つひとつが、私たちの時代に鮮烈な問いを投げかけ、未完の課題へと意識を向けさせてくれます。

8

同志社の歴史は、日本の私学の歴史であり、また、日本の近現代史における葛藤が刻み込まれています。過去に対する私たちの立ち位置を確認し、現在の課題を見定め、現在の単なる延長ではない未来を形づくっていくためにも、歴史認識は大切です。新たな見方を得るための素材を、この授業ではたくさん提供していく予定です。

9

成績評価基準

- ・ 毎回の小レポート提出（15回）
- ・ オンデマンド動画、リーディング・アサインメントを踏まえた課題を毎回出しますので、それに対応したレポートを書き、提出してください。

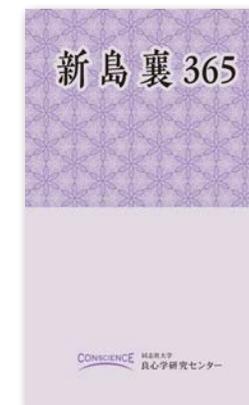
11

1 (4/14)		導入
2 (4/21)	【建学の精神に関する学び】	新島襄の生涯 (1)
3 (4/28)		新島襄の生涯 (2)
4 (5/12)		私学・同志社
5 (5/19)		初期同志社を支えた人々—熊本バンド、アメリカンボード
6 (5/26)		新島襄の教育観・人間観 (1)
7 (6/2)		新島襄の教育観・人間観 (2)
8 (6/9)		同志社150年史ハイライト—建学の精神の変遷
9 (6/16)	【キリスト教に関する学び】	イエスとその運動
10 (6/23)		キリスト教の歴史的展開
11 (6/30)		米国におけるキリスト教
12 (7/7)		キリスト教と人権・尊厳
13 (7/14)		キリスト教と良心
14 (7/21)		キリスト教主義の未来
15 (7/28)		総括

10

テキスト

- ・ **1日目～5日目**
新島襄の言葉 (1) ～ (261)
- ・ **6日目** 新島襄の評伝 (1) ～ (52)
 - ・ 新島の人柄や思想の輪郭を巧みに描写している知人・友人たちの言葉を集めています。
- ・ **7日目** 同志社エピソード (1) ～ (52)
 - ・ 新島の誕生から現代に至る同志社史の重要エピソードを紹介しています。



12

ハリス理化学館 同志社ギャラリー



Harris
Science
Hall
Doshisha
Gallery



13

新島襄・同志社を 知るための基本資料

14

新島襄を知るための基本



15



16

読みやすい参考文献

- 本井康博
『新島襄と建学精神——
「同志社科目」テキスト
ト』、2005年（定価500
円、生協書籍部、同志社エ
ンタープライズで販売）。
- 本井康博「新島襄を語る」
シリーズ（全10巻）



17

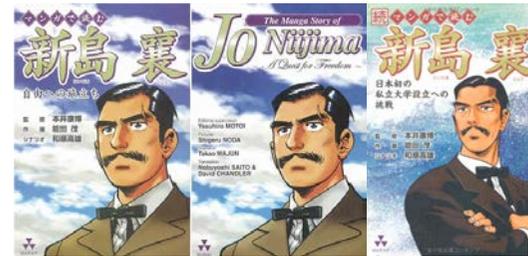
同志社をどのように案内する？

- 「同志社」という名前の由来は？
- なぜ、ここにあるのか？
- 建物の特徴（レンガを基調とする）
- 正門近くの「良心碑」とは？

19

マンガ・DVD

能田 茂 (著), 本井 康博 (監修) 『マンガで読
む新島襄』 (日・英・韓) 同志社大学



18

今回の課題（800字）

- 今回学んだことを踏まえ、なぜ、この授業を履修しようと思ったのか、また、特にどのようなことに関心があるのかについて記してください。

20